

アイリス Letter

保護者の皆様へ



2021年6月1日発行

第2号

広島女学院中学高等学校

聖書のことば

あなたがたのうちだれが、思い悩んだからといって、寿命をわずかでも延ばすことができようか。なぜ、衣服のことで思い悩むのか。野の花がどのように育つのか、注意して見なさい。働きもせず、紡ぎもしない。しかし、言うておく。栄華を極めたソロモンでさえ、この花の一つほどにも着飾ってはいなかった。今日は生えていて、明日は炉に投げ込まれる野の草でさえ、神はこのように装ってくださる。まして、あなたがたにはなおさらのことではないか、信仰の薄い者たちよ。

マタイによる福音書 6章27～30節

5月26日からの生徒出校停止の期間、自宅で自分の思うように過ごすことができたでしょうか。6月1日から、登校を遅らせ、40分授業で学校を再開します。放課後の活動も時間が短くなりますが、活動に取り組んでいきます。

今年の話だけではなく、今後ICT機器を利用し、本来の場所でなく、自宅などで社会活動に関わっていくことは通常化されてゆくのでしょうか。しかし、授業での先生と生徒のやりとりや、たわいのない友達との会話に笑顔があふれることや、つらさや悲しさを隣にいる人と分かち合うことは、学校に集まり、つながり合うことでしかできないことだと思います。

このように、コロナ禍の中で、人とのつながりの大切さを思うようになりました。さらに、この期間自然とのつながりの大切さを改めて感じています。わたしは、九州の山村の出身で、そこには田んぼや畑があります。若いころは、自然の大切さを知らず、それを大切にする農業も選べなかったのですが、コロナ禍の中でも、何も変わらず恵みを与えてくれる大自然の力に圧倒されます。水、土、太陽の光のやさしさに包み込まれるとき、これ以上の宝物があるのだろうか、これを回復させることこそがコロナ禍で学ぶべきことではないのだろうかと思っています。ICT機器の発達と自然の恵み。一見、並び立たないような話ですが、実は可能だと思っていますし、そんな学校を夢んでいます。

さて、学校が再開します。学校でしか出会えないことがいっぱいあります。一人ひとりの宝物を見つける毎日が始まります。

(校長)



生徒会春の公演

①高校演劇部

4月24日(土)午後、高校演劇部が春の公演「夏色をさがして」を行いました。昨年度はコロナ禍で全く行えなかった春の公演です。昨年度高3の演劇部の人たちにはかわいそうなことでしたが、OGの人たちも駆けつけてくれ、後輩たちの活動をねぎらってくれました。約30分の短い劇でしたが、熱く演じきった今年度の春の公演で、高3生は引退です。観客の方々の前で演じてこそ「演劇」の場です。貴重な時間と体験を、本当にありがとうございました。(顧問)

②中高マンドリン部定期演奏会

休日の4月25日の午後、中高マンドリン部は第41回定期演奏会を開催しました。昨年の定演が中止だったため、2年ぶりの大きな演奏会でした。演奏時間の短縮と入場者制限がありましたが、ご家族や在校生、OGの方々が数多く来場してくださり、温かい雰囲気の中で部員一同思い切り演奏することができました。

3学期から、難しい曲に悩みつつ熱心に練習を重ねられたのも、定期演奏会という目標があったからです。部としてまたひとつ成長することができました。演奏会を許可して下さった学校、支えて下さった全ての方に心より感謝いたします。

(顧問)

中2遠足

中2は密を避けるために学年全体を2つに分け、ゲーンズ先生のお墓と安佐動物園を訪れました。ゲーンズ先生のお墓



では、礼拝委員が花を供え、全員で黙とうを捧げました。また、安佐動物園では、事前に班で見て回ることを決めておいた動物のスケッチ・観察を課題研究の一環として取り組みました。広場で班ごとに昼食をとったり、園内を自由に散策したりしてクラスの親睦を深めることができました。



(中2学年会)

中3遠足

中3は「みよし風土記の丘」と「みよしあそびの王国」へ行きました。風土記の丘では本物の古墳に感激し、民俗資料館では出土した土器や短剣などを見ることができました。あそびの王国では遊具で童心に返って遊びました。

今回は特別に三次きんさいスタジアムも見学でき、プロ野球の試合も行われたグラウンドの芝生の感覚やベンチからの風景を体験できました。暑くてクタクタでしたが、新しいクラスの友達と親睦を深めるよい1日になりました。

(中3学年会)

高2遠足

昨年以来コロナ禍により、多くの行事が中止延期となる中、今年は感染予防対策をしっかりと行い、尾道へ遠足に行くことができました。私達の学年は雨女学年と呼ばれるほど天候に恵まれない学年ですが、今回の遠足は雲ひとつない晴天の元、尾道散策をすることが叶いました。青空と青い海、青々と茂った自然が広がっていて日頃の煩いなど一瞬で忘れられほど素晴らしい景色でした。



現地では、グループごとに尾道の名所を訪れたのですが、道が分からなくなった際は、地元の方々が優しく教えてくださり、人々の暖かさを感じられる遠足でした。さて尾道といえば尾道ラーメン!!豚の背脂を浮かせた醤油ベースのスープと平打ち麺の相性は最高で、女子でも一杯ペロリと食べられるほど美味しかったです。久々の遠足を楽しむ女学院生の姿はとても輝いていました。これからある様々な学校行事もみんなで楽しんでいきたいです。
(高2HR委員)

高3遠足



高3は遠路はるばる秋吉台サファリパークと秋吉台展望台に行きました。

片道2時間半、自然豊かなカルスト台地の爽やかな風に吹かれて散策し、サファリパークで餌やりバスに乗り込みライオン



達に餌やり体験。なかなか餌に気付いて貰えなかったり、横からトンビに餌をかつさらわれたり、トラに振り向いてもらえなかったりと、普段見ることの出来ない動物たちと触れ合い、子ヤギやレッサーパンダの可愛さに癒された一日でした。
(高3学年会)

中1学年オリエンテーション

中1では、4月入学の日から5月中間テストまで「関係づくり」を中心にクラスや学年の活動を行ってきました。入学後にオリエンテーション①を行っていますが、4月27日(火)～28日(水)にオリエンテーション②を行いました。

オリエンテーション②の1日目は、他学年が遠足のためホール・体育館・特別教室などを贅沢に使って活動しました。宗教オリエンテーションでゲーンズ先生について学び、校内の慰霊碑巡りで女学院の被爆について知り、HR委員企画の学年アクティビティは学年全体で楽しみながら他のクラスの友だちと名刺を交換して交流し、クラス活動の同級生インタビューではクラスメートのことを知り新しい自分を発見することもできました。2日目は、比治山のゲーンズ先生の墓所で墓前礼拝を行ってグリーンピアせとうちに移動し、同級生インタビューをもとにした「自分を語る」の原稿を書き、その後クラス対抗のドッジボール大会を行いました。オリエンテーション後、5月1日(土)のLHRでは「自分を語る」をクラスの前で読みました。今年の中学1年は生徒も教員も、毎日元気に登校して、全力で行事を楽しみ、全力で学校生活を楽しんでいます。
(中1学年主任)

高1 学年オリエンテーション

4月26日(月)と27日(火)に高1オリエンテーションを行いました。今年はコロナの影響で例年のような合宿ではなく、日帰りで行いましたが、自分と向き合う良い時間を過ごすことができました。さらに、高校生活が始まり、進路実現のために、どんな学校生活を送るかを考えました。

1日目はグリーンピアせとうちでHR活動をしました。開会礼拝のあと、進路指導部長の久保先生から、高校生活や授業、日々の学習に必要な心構えを聞きました。昼食後、各クラスに分かれてHR活動を行いました。春休みに書いた自分史と保護者の方からの手紙を読んで、自分自身を見つめ、「自分を語る」の原稿を作りました。その後、出来上がった「自分を語る」の原稿を基に各クラスで一人ずつ発表を行いました。一人一人が自分自身を語り、クラスメイトの話に耳を傾けることで高校生活をどのように送るか、また、自分の将来をどう築いていくかをじっくり考えることができました。

2日目は各教室でクラスメイト全員のいいところをお互い伝え合いました。その後、HR委員が企画したドッチボール大会を楽しみ、2日間のオリエンテーションを終えました。2日間で学んだことを糧にそれぞれ充実した高校生活を送っていきたいと思います。



(高1 HR委員)

体育大会

中高グラウンドで規模を縮小して開催できるようになった高校体育大会。曇り空の中、例年とは違い行進をせず学年ごとに整列をしてからの開会式でした。

競技は、学年種目として、高1はダンス、高2は長縄、高3はムカデ競争。個人で希望して参加する種目として、参勤交代、玉入れ、クラス対抗リレー。有志生徒による、応援団のダンス。そして体育大会の華、五色対抗リレーでした。

高1ダンスは、体育の授業で短時間で仕上げたにもかかわらず、息の合ったダンスができていました。高2長縄は、いつもよりグループの人数を少なくしていたためか、例年のないハイレベルな戦いとなりました。高3ムカデ競争のクラスで団結した姿は、さすが高3と感じさせるものでした。

応援団のダンスは、短い準備期間でしたが工夫を凝らした衣装もダンスも素敵でした。観戦している生徒からの惜しめない拍手がやむことはありませんでした。



ラストの五色対抗リレーでは、クラスを代表して走った生徒の頑張りやとテントで応援する生徒の姿で大盛り上がりでした。

今年度は縮小して中高で行うというはじめての形の上、練習等の準備も不十分でした。しかし、多くの生徒が協力し、また、臨機応変に対応してくれたおかげでスムーズに運営することができました。そして、感染症対策への意識も高く、今後の行事開催の検討への好材料となったことだと思います。イレギュラーな形での体育大会でしたが、生徒の皆さんの笑顔を見てみると、開催できてよかったと心から感じました。

中学は、2学期に延期となりましたが、高校生に負けない若いパワーに満ちた体育大会になることを願っています。
(体育科)

保健室だより (2)

夏が近づき気温が高くなってきました。特に梅雨時は、湿度も高く蒸し暑く感じる日が増えます。「高温」「多湿」のもとでは細菌が繁殖して食べ物や飲み物が傷みやすく、食中毒が発生する好条件といえます。食中毒を予防するための三原則として、清潔（手や調理器具、材料をよく洗う）・迅速摂取（早めに食べるか冷蔵庫へ入れる）・熱処理（食品を75℃以上で1分以上加熱する）が大切です。

食中毒だけでなく、引き続き熱中症も予防していきましょう。家から持参した水分が足りなくなった場合は、冷水器の使用もできます。ルールを守り安全に使用しましょう。また、汗をかいたり雨に濡れてしまった時の為にも、清潔なハンカチやタオルを持参し風邪を引かないように気を付けましょう。



(保健室)

心の健康 (2)

となりの家のとても手入れの良いお庭の紫陽花（あじさい）が今年はたくさん花芽をつけています。そのうち、彩りよく咲いてくれるでしょう。

6月は梅雨です。この時期は湿度が高く、空気もジメジメします。人の心と身体は天気や天候の影響を受けますので、心もジメジメしがちです。こういう時こそ、家庭で一工夫して心身の健康に気をつけたいものです。



今月は『美しいものにふれよう』そして、『うちとけた会話を大切にしよう』ということをやってみられてはいかがでしょうか。お部屋にちょっとお花を飾る心のゆとりもほしいですね。
(カウンセラー)

生徒の活躍

◇5月30日(日)高校卓球部 県総体(団体) B級 5位入賞

教職員の動向

新しい技術職員は次の方々です。

《技術》林 佳未

池田 宏水



今月の聖句

愛は忍耐強い。愛は情け深い。ねたまない。愛は自慢せず、高ぶらない。礼を失せず、自分の利益を求めず、いらだたず、恨みを抱かない。不義を喜ばず、真実を喜ぶ。すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてに耐える。

コリントの信徒への手紙一

13章4～7節

大阪の地下鉄に「チカンがあかん」という張り紙がある。一方、横浜の地下鉄には「痴漢に用心」とある。後者は被害に遭わないように、前者は加害者にならないようにということだ。どちらがより真剣に痴漢を犯罪として考えているだろうか。人間の尊厳をしっかりと守れないような社会になっていることを情けなく思う。

しかしまた「チカンがあかん」というメッセージには、この言葉に気づいて、痴漢は絶対にいけないことだからやらない、そうした効果に期待がこめられている。そこには、「人は変わる」ということへの信頼がある。

「人は変わる」、これは極めて聖書的な考えである。今日の聖書箇所も、「愛」を「私」と置き換えて、その中で一つでもよい、今日一日、例えば、「私は情け深い」と読んで、それを実行してみる。そうすると、愛の人生を一つ積んだことになるのではないだろうか。

(5月17日高校礼拝 三谷 高康 院長)

6月の行事予定表

1	火	面接週間(40分授業) 1～3限土曜日授業 夏服更衣 教育実習(6月21日(月)まで) (総)
2	水	[NC]
3	木	
4	金	
5	土	(高)県総体 (L・総)
6	日	高3マーク進研模試
7	月	
8	火	4～6限土曜授業 (総)
9	水	[NC][EP]
10	木	
11	金	(中)漢字検定(中1～中3)
12	土	
13	日	
14	月	平和を祈る週
15	火	
16	水	[NC][EP]
17	木	
18	金	
19	土	平和を祈る週特別礼拝 45分授業 (総)
20	日	
21	月	
22	火	40分授業 (高)7限～文化講演会
23	水	[NC][EP]
24	木	
25	金	
26	土	(L・総)
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	

NC・・・ノークラブデー

※行事予定は変更になることがあります

